

(法第 28 条第 1 項関係様式例)

平成 25 年度事業報告書

平成 25 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日まで

法人名：NPO 法人 老いと病いの文化研究所 われもこう

1 事業の成果

本法人は、人間が「老いること」や「病むこと」に対して謙虚にそして恐れず向かい合い、医療依存度の高い要介護の高齢者であっても、これまで生きてきた人生が尊重され、地域の中で家族と暮らすような安寧な生活を支援することを大きな目的として事業に取り組んでいる。平成 22 年 4 月から NPO としての活動を開始し、4 年間が経過した。本当の自宅ではないけれど、自宅に近い環境で安心して生活ができるように、地域の集落にある空き家を改修し 24 時間 365 日のケアを提供している。平成 24 年度に、地域のニーズに伴いさらに 2 軒の空き家を改修し、平成 25 年 3 月から 2 軒目「われもこう新大江」をスタートした。3 軒目「われもこう野口」はスタッフの募集と入居準備中である。平成 25 年度は「われもこう薬師」で 2 名を看取り、1 名は他施設へ転居後亡くなられた。現在「われもこう薬師」に 6 名（母屋 5 名、離れ 1 名）、「われもこう新大江」は 3 月に 1 名の入居者から開始し、「われもこう薬師」からの転居 1 名、60 代のがん末期の診断を受けた方から 90 代の高齢の方まで、現在 5 名の入居者とその家族を支援している。高齢であるため、時折体調の変化はあるものの、主治医との連携により早期の対応ができています。日頃から家族への連絡を定期的に行っており、状態変化時も家族への連絡がスムーズにできるようになってきた。入居後、穏やかな生活が続き看取りの件数は多くはないが、お一人お一人を家族とともに精一杯お世話をする中で、介護のスタッフも家族も“穏やかな死”への受け止めと覚悟ができつつある。特に介護スタッフは、実際の看取りを経験することでケアへの自信につながっている。入居者の家族は医療職者が多く、このこともケアの評価であると考えられる。

「われもこう野口」については、現在入居者を募集中であり、スタッフを「薬師」と「新大江」で研修を行っている所である。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
要介護高齢者やターミナル療養者の生活支援事業	要介護高齢者に対し、24 時間 365 日の看取りを含めた生活支援サービスを行った。本年度は 2 名の看取りを行った。重度の要介護入居者も体調の波はあるものの穏やかに過ごされた。体調に合わせて、本当の家への外出援助も	通年	われもこう	13 人	要介護者 15 人及びその家族 介護相談約	43.004

	<p>行った。1名は自宅近くのグループホームへ転居された。</p> <p>2名の看取り後、新しい入居者を迎え、平成26年3月末現在、「われもこう薬師」に70代2名、80代4名、計6名、「われもこう新大江」に60代1名、80代3名、90代2名、計6名の療養生活を支援中である。</p> <p>在宅療養に関する家族相談事業を行った。入居相談、療養相談、介護相談などを行った。</p>				10 家族	
高齢者や障害者ケアに関する研究・研修事業	<p>在宅ケアや在宅ターミナルに関する研究・研修会を行った。</p> <p>全国ホームホスピス推進委員会宿泊研修会（宮崎） 約100名参加</p> <p>われもこう内でのスタッフ研修 「介護職のためのターミナルケア」「摂食・嚥下講習会」「介護食」「口腔ケア」</p> <p>ホームホスピス推進委員会4回 熊本保健科学大学看護学生延べ8週間（在宅看護実習）</p> <p>米国イリノイ州聖アンソニー大学教授ら視察研修（3名） 全国ホームホスピス人事交流（宮崎、久留米、神戸、尼崎）</p> <p>認知症徘徊模擬訓練（約30名）</p>	<p>11/8 -11/9</p> <p>各月</p> <p>6月 -11月</p> <p>5月</p>	<p>当法人事務所</p> <p>城山薬師公民館</p> <p>および熊本保健科学大学</p>	5人	<p>地域医療・福祉に関わる専門職者、会員延べ500人</p> <p>地域住民約350名</p>	<u>2.567</u>
	<p>地域ケアに関する調査研究・発表を行った。</p> <p>調査研究は通年を通して実施 研究者10名</p> <p>「城山薬師町の地域福祉に関する調</p>	通年	<p>当法人事務所</p> <p>熊本保健科学大学</p>	5人	<p>地域医療・福祉に関わる専門職者、研究者、学生延べ100名</p>	<u>0</u>

	<p>査」実施</p> <p>熊本保健科学大学研究発表（約 50 名）</p> <p>「NPO 法人ホームホスピスにおけるケア実践と地域ケア・システムの構築」</p> <p>平穏な死を考える会（約 100 名）</p> <p>「のさりからみる老いと行方 ～ホームホスピスわれもこの活動～」</p> <p>苓北支援学校（約 50 名）</p> <p>御船町認知症ケア講演会（約 100 名）</p>				<p>城山薬師住民約 50 名</p> <p>地域住民 350 名</p>	
<p>介護保険法に規定する訪問介護、訪問看護、通所介護、短期入所生活介護等の指定居宅サービス事業</p>	<p>「ヘルパーステーションわれもこの」のヘルパーが、ホームホスピスわれもこの入居者に対し必要な訪問介護を提供した。</p> <p>「われもこの新大江」内に「訪問看護ステーションわれもこの」を開設したが、平成 25 年度はスタッフ不足のため休止した。</p> <p>「われもこの新大江」には、近隣の独居高齢者の体調不良のため急追ショートステイを実施し、そのまま入居となった。</p>	<p>通年</p>	<p>当法人事務所</p> <p>ヘルパーステーションわれもこの</p> <p>訪問看護ステーションわれもこの</p>	<p>15 名</p>	<p>利用者 8 名</p> <p>短期宿泊 1 名</p>	
<p>地域交流事業</p>	<p>平成 25 年度も引き続き入居者と家族を中心にした地域交流を実施した。</p> <p>平成 25 年 4 月お花見散歩</p> <p>平成 26 年 3 月お花見散歩、福祉車両贈呈式</p> <p>平成 26 年 3 月「木下淳ピアノ・リサイタル」住民約 50 名（カンタービレ）</p> <p>「ホームコンサート」木下邸にて約 5 名</p> <p>平成 25 年 12 月近所の青年団主催、庭で「もちつき」入居者と家</p>	<p>時季</p>	<p>ホームホスピスわれもこの屋内と庭、小屋</p> <p>カンタービレ（ホール）</p>	<p>5 名</p>	<p>入居者とその家族</p> <p>地域住民</p>	

	族、近隣住民、子供会、ボランティア約 30 名 ついたモチはこられた方とわれもこうのある薬師町西組の 7 世帯、自治会長、民生委員、公民館長、往診医師らに配布					
--	--	--	--	--	--	--